

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第14週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和5年 第14週分 4月4日～4月10日公表分

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→ 423例

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

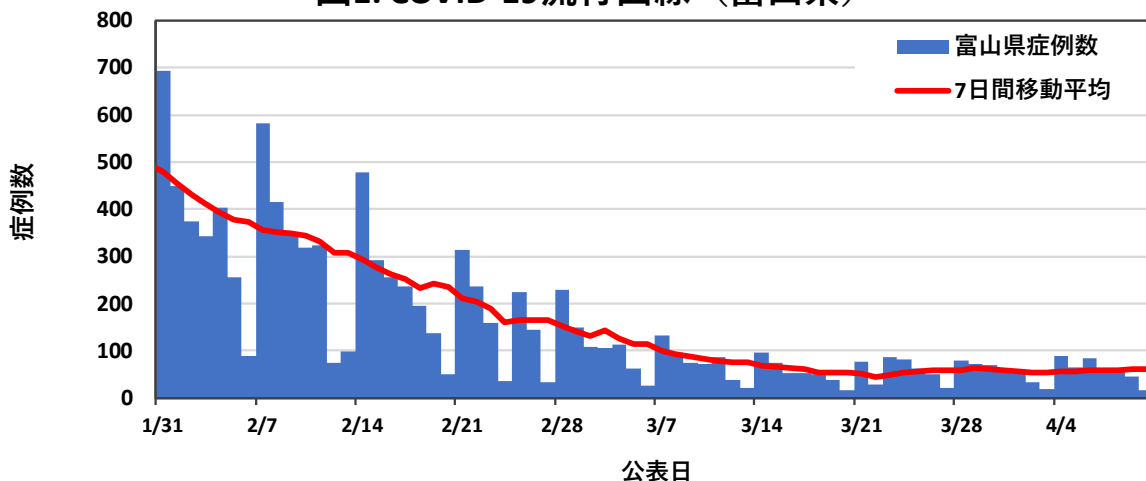


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、14週）

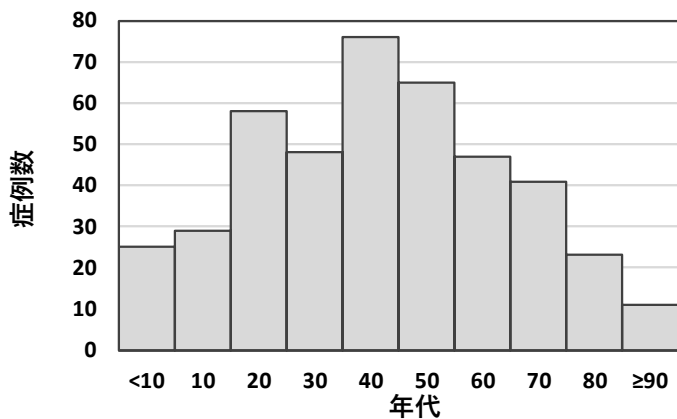


図4. COVID-19年代別割合（富山県、14週）

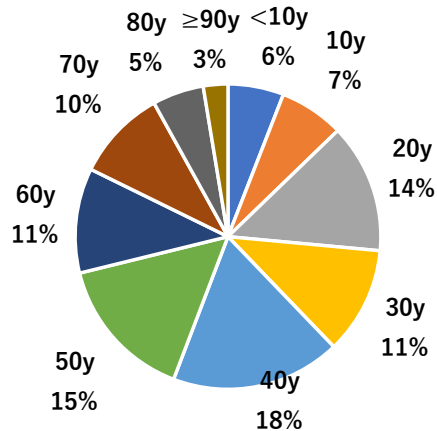


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

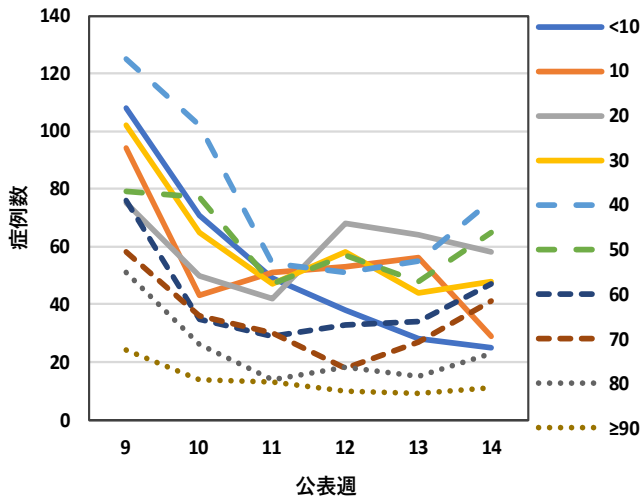
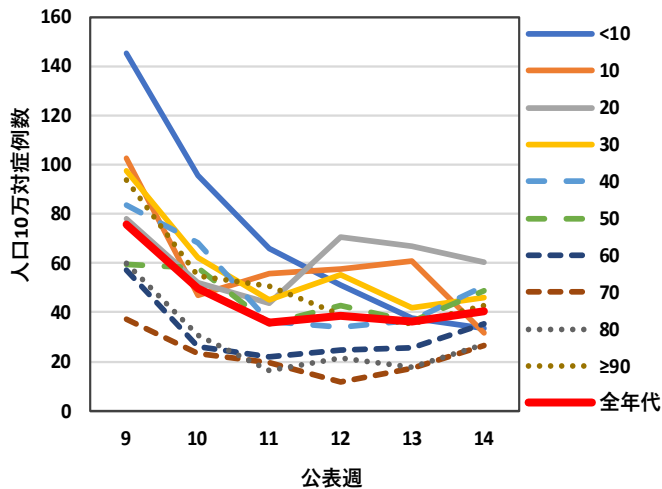


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



4月10日時点での所見と評価

- 第14週の新規報告数は、423例。先週（380例）から増加した（図1）。
- 実効再生産数（図2）は、4/5から再び増加傾向となり、4/10時点で1.03。
- 第14週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。症例数は40歳代が最も多く18%を占め、次いで50歳代、20歳代の順であった。60歳以上の割合は29%であった。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。20歳代以下の年代では減少した一方、40～80歳代は増加した。
- 第14週に40歳代以上の増加が軽度ながら認められることから、今後の感染動向に注意が必要である。